

事業番号	15 02 04	事業改善シート（令和元年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検 <input checked="" type="checkbox"/>			
事業名	「チームとしての学校」スクール・サポート・スタッフ配置事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	義務教育課
		実施期間	H30～	E-mail	gimukyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 平成30年度「4・5月教職員の勤務時間等の調査」では教員一人当たりの1か月平均時間外勤務時間は63時間程度であり、長時間勤務の実態が続いている。本来業務のほかに諸事務、部活動、授業補助等の多様な業務が長時間勤務の一因となっている。今後、学習指導要領の改訂に伴う授業改善や複雑化した課題への対応等、教員が本来業務に注力できるための人的支援が必要。
	【目指す姿】 授業以外の諸業務を補助的に行うスクール・サポート・スタッフを学校に配置し、教員の負担軽減を図ること、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を作る。
	【実施内容】 授業補助、印刷業務、採点業務等を補助的に行うスクール・サポート・スタッフを一定規模以上の学校に配置する。

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業 コスト	区分(単位:千円)		H30年度	R1年度		
		前年度繰越		0	0														
		現計予算		72,671	87,458														
		合計(A)		72,671	87,458														
		うち一般財源		48,564	58,394														
		決算額(B)		72,671	87,458														
		職員数(人)		1	1														
1	教員一人当たりにおける1か月の平均時間外勤務時間の対前年比(配置校)	-	△6.7% ↗	△13.1% ↗	△8.0	達成													
2																			
3																			
4																			

成果指標設定理由	スクール・サポート・スタッフを活用した業務改善に向けた学校マネジメントの実施状況を、時間外勤務時間の改善状況によって評価する。
----------	---

達成状況の分析	前年度比13.1%減と、目標値を上回った。特に、平成30年度に配置し実質2年目の活用となる学校においては、31年度から新規に配置した学校よりも教員一人当たりにおける平均時間外勤務時間が下回った。スクール・サポート・スタッフが業務の流れを理解し、先を見通して取り組んでいる成果だと認識している。
---------	--

主な取組	✓ スクール・サポート・スタッフ配置事業の実施 ・通常学級数が概ね16以上の小・中・義務教育学校に1校につき1名、計120名を配置(昨年度比+18名)し、教員の負担軽減を図ることで、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制が構築された。
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p>「生活記録、図書カード、出席簿、保健関係(歯科検診、保健簿、健康の記録)などの押印、新2年生学級編成替えに伴う各種書類などの並び替え、公文書ファイル作成など行ってもらい、年度当初の激務の軽減に大きくつながった。本校のSSSは、2年目(教職経験もあり)で、先を見通し、スムーズに仕事を進めていただいている。」</p> <p style="text-align: right;">ある中学校の声</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p>「2年目になり、仕事の見通しが持てるようになりました。いつも温かい声を掛けていただき、本当に助かっています。これからももっと先生方に頼られるように、また少しでも先生方が早く帰れるように精一杯頑張りたいと思います。」</p> <p style="text-align: right;">あるスクール・サポート・スタッフの声</p> </div> </div>

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのよう にしていきたいか	課 題 等	今後の方向性
	令和元年度は通常学級数が概ね16以上の小(義務教育学校前期課程を含む)・中学校(義務教育学校後期課程を含む)にスクールサポートスタッフを配置したが、未配置校も多い。	スクール・サポート・スタッフの配置校を拡充し、更なる業務改善に取り組む。

事業番号	15 02 04	細事業一覧（令和元年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	「チームとしての学校」スクール・サポート・スタッフ配置事業費	部局	教育員会事務局	課・室	義務教育課

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	「チームとしての学校」スクール・サポート・スタッフ配置事業費	72,671 千円	87,458 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	「チームとしての学校」スクール・サポート・スタッフ配置事業費	直接	授業補助、印刷業務、採点業務等を補助的に行うスクール・サポート・スタッフとして非常勤職員を小・中学校120校に配置した。